

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたので、ご利用いただきたくご案内致します。

謹白

記

新規項目内容一覧

項目コード	検査項目名	検体量	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
4234	アスペルギルス抗体 IgG	血清 0.3 mL	01 ↓ 02	冷蔵 (28日)	3~5日	未収載	ELISA	5.0未満(AU/mL) 陰性

受託開始日

- 令和4年10月1日(土)

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	検査項目名	最終受託日
1760	アスペルギルス抗体	2022年10月29日(土)ご依頼分まで

●アスペルギルス抗体 IgG

アスペルギルス症の診断補助に有用な検査です。

アスペルギルス症は、侵襲性肺アスペルギルス症 (IPA)、慢性肺アスペルギルス症 (CPA)、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の病型に大別されます。感染症としての IPA と CPA では下気道検体からの培養検査が確定診断となります。血清学診断では β -D-グルカンがスクリーニング検査として有用ですが特異的でないといわれています。ガラクトマンナン (GM) 抗原は IPA の診断には有用ですが、CPA に対しては感度が低いことが報告されています。抗体検査には CF 法、沈降反応、ELISA 法などがあり、CPA では GM 抗原に比べ有用性が高いことが報告されています。ABPA の診断にも特異的 IgG の検出が有用とされています (Rosenberg 診断基準)。

▼疾患との関連

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA)
侵襲性肺アスペルギルス症 (IPA)
慢性肺アスペルギルス症 (CPA)

▼関連する主な検査項目

アスペルギルス抗原
 β -D-グルカン

▼検査要項 (現法との比較)

	新	旧
検査項目名	アスペルギルス抗体IgG	アスペルギルス抗体
項目コード	4234	1760
検体量	血清 0.3mL	血清 1.0mL
容器	01→02	同左
保存方法	冷蔵保存してください	同左
所要日数	3~5日	6~8日
検査方法	ELISA	オクタロニー法
基準値 (単位)	5.0未満 (AU/mL) 陰性 判定基準: 下記参照	陰性
報告範囲 (単位)	アスペルギルス抗体IgG: 1.4未満、 1.4~79、80以上 (AU/mL) 判定: 陰性、判定保留、陽性	
桁数	アスペルギルス抗体IgG: 有効2桁、 整数2桁、小数1桁	
検査実施料	未記載	同左
委託先	株式会社エスアールエル 八王子ラボラトリー	

●判定基準

AU/mL	判定
5.0未満	陰性
5.0~9.9	判定保留
10以上	陽性

●相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	20	7
	陽性	0	38

一致率: 89.2% (n=65)

●参考文献

国内文献投稿予定 (検査方法参考文献)

Dumollard C, et al: J Clin Microbiol 54(5): 1236~1242, 2016. (臨床的意義参考文献)